

確率・統計 A 演習 第 4 回テスト

2015.5.13

1. 事象列 $\{A_n\}$ に対して以下を示せ.

(a) $B_n = \bigcup_{i=1}^n A_i$ ($n = 1, 2, \dots$) とするとき, $\lim_{n \rightarrow \infty} B_n = \bigcup_{i=1}^{\infty} A_i$.

2. 以下の集合がボレル集合であることを示せ.

$$(-\infty, b), [a, \infty), (a, \infty), \{a\}$$

3. (Ω, \mathcal{B}, P) を確率空間, $A, B \in \mathcal{B}$ とし, $P(B) \neq 0$ とする. B を固定し, $A \in \mathcal{B}$ に対して

$$P_B(A) = P(A|B)$$

とおく. このとき, P_B は (Ω, \mathcal{B}) 上の確率であることを示せ

4. (Ω, \mathcal{B}, P) を確率空間とし, $B_1, \dots, B_n \in \mathcal{B}$ は互いに素で, $\bigcup_{i=1}^n B_i = \Omega$, また, $P(B_i) > 0$ ($i = 1, \dots, n$) とする. このとき, 任意の $A \in \mathcal{B}$, $P(A) > 0$ に対して

$$P(B_i|A) = \frac{P(B_i)P(A|B_i)}{\sum_{j=1}^n P(B_j)P(A|B_j)}.$$

が成り立つことを示せ.

ただし, 各問とも, σ -集合体の基本性質および, 確率測度の基本性質 (単調性, 加法公式, 有限加法性, 劣加法性, 連続性等) は証明なしに用いてよい.